

授業科目名 (英文名)	医療経済学 (経済学部・専門教育科目) (Medical Economics)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	菅 万理	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	この講義の目的は、医療や保健に関する様々な論題を取り上げ経済学の考え方をを用いて考察することである。授業で取り上げる問題について、受講者が自ら考察する能力や経済学的なセンスを身につけることがこの講義の到達目標である。		
講義内容・授業計画	<p>講義では、導入部分においては、よりテーマを身近にとらえるため日本の医療保険制度や国民医療費を概観するが、全体としては、より「国際的視点」から、経済学を用いて医療・保健問題についての考察を行っていく。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2-3.日本の医療保険制度の概要と国民医療費 4. 保健医療と経済学？ 5. 保険の経済理論 6-7.健康・医療サービスの需要 8-9.保健医療サービスの供給 10. 供給者誘発需要と情報の非対称性 11. 医療の価格、競争 12. 生活習慣 13. 医療技術 14. 健康格差 15. 医療制度の国際比較 16. 評価 (到達度の確認) 		
テキスト	特に指定しないが、次の参考文献が学習の役に立つと思われる。		
参考文献	橋本英樹・泉田信行編 (2016) 『医療経済学講義 補訂版』東京大学出版会 河口洋行 (2015) 『医療の経済学 第3版』日本評論社 B.マックペイク・L.クマラナヤケ・C.ノルモンド著(大日康史・近藤正英訳) (2004) 『国際的視点から学ぶ医療経済学入門』東京大学出版会		
成績評価の基準・方法	平常点(出席および授業時間内の提出物) (40%)、小テスト(30%)、期末試験(30%)によって評価する。授業に基づいた論述形式の小テストは事前の予告なく行う。		
履修上の注意・履修要件	出席・参加を重視した科目であるため、就職活動・クラブ活動等を理由とする欠席に対し、特別措置は一切行わない。 シラバスをよく読み、講義内容について学ぶ意欲のある者のみ履修登録するように。		
実践的教育	該当しない		
備考	1回目の授業で、授業の進め方や内容、評価について重要な連絡事項を説明します。履修予定者は必ず出席すること。 ミクロ経済学を履修済み、もしくは並行履修していることが望ましい。		